

事例 15

生活科:きれいにさいてね「たねをまこう」  
関連する 10 の姿:②自立心 ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑩豊かな感性と表現  
参考 東京書籍「あたらしいせいかつ上 教師用指導書授業展開編」 たねをまこう

実施時期1学年4～5月【スタートカリキュラム『わくわくタイム』合科的・関連的な指導による生活科を中心とした学習活動の時間】

☆思いや願いをもつ

幼児期や日常での栽培経験について話しながら、育てたい花を話している。

保育園の時はね、おいももなすも育てたよ。

家がユリ農家でおじいちゃん育てているのを時々手伝っているよ。

ふうせんかずらのふうせんのかたちがおもしろいね。

図書室で作業できるように図鑑や花の本を確認・準備しておく。

同じ花を選んだ友だちと協力して植え方を調べたり、模造紙に書いたりしている。

お家の人に聞いたメモ

校長先生に聞いてみよう。

タブレットも使って調べよう。

この字はどうやって書いたらいいのかな。

②自立心  
自分の種や鉢に思いをもって、これまでの経験や話合いで得た知識から考え、育てようとしている。

③数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚  
図書室の本や図鑑を見て、調べて分かったことを書こうとしている。

自分の調べたやり方で、友だちと協力しながら種まきをしている。

○子供の発見やつばやきを認めたり評価したりする。

同じ花のチームで協力しようね

★目に触れやすい日なたなど、自ら関わる意欲が続く環境を作る。

日があたるところにおきたいな。

まくときは、じゅ文をいうといいよ。

なんでふうせんかずらだけめが出ないのかな？

めが出ない理由をみんなで考え、友達のアドバイスをもらって水につけてから植えなおしたよ。

日々のお世話を通して、自分や友達の花の成長やちがいに気付いたり、変化に疑問をもったりしている。

○発達に応じた表現や関わりを取り入れることで、一人一人が主体的に対象に関われるようにする。

百日草の中にひまわりの葉っぱがまざってる！

⑦自然との関わり・生命尊重  
花の成長を楽しみに関わることで、日々の変化に気付き、必要な世話を考えようとしている。

自分の花に名前を付けるなど、思いをもって毎日関わることで、様々な気付きが生まれ、タブレットで写真を撮ったりカードに絵や言葉で表したりする。

⑩豊かな感性と表現  
自分だけの花の鉢や種を喜び、これから育てようとするアサガオへの気持ちをつばやいたり、友達のつばやきをまねたりしながら、絵や文字で表現しようとしている。

☆経験を生かす

☆活動や体験をする

感じる・考える

表現する・行為する

めざす子供の姿

遊びや学びのプロセス(10の姿)

○先生の関わり

★環境づくり

※架け橋期のカリキュラム参照

|                                                                                                               |                                                                                                                                                                                    |                                                                                                    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 児童の姿                                                                                                          | ・自分たちが選んだ花の種について、それぞれが調べた植え方で種をまこうと活動に期待をふくらませている。                                                                                                                                 |                                                                                                    |
| 本時の目標<br>教科                                                                                                   | ・幼児期や日常での経験に思いを巡らせて、自分選んだ花の種をまく活動を通して、植物に親しみをもち、大事にしようとする。<br>☆生活3・4／10時間 内容項目(7)                                                                                                  |                                                                                                    |
| 評価規準<br>主に関わる<br>10の姿                                                                                         | ・幼児期や日常での経験に思いを巡らせて、育てる植物を決めたり、種のまき方を決めたりしている。<br>[生活]【思・判・表】 ②自立心 ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑩豊かな感性と表現                                                                                         |                                                                                                    |
| 展開・主な学習活動<br>児童や担任の発言                                                                                         | ○指導上の留意点<br>*接続期に応じた指導の工夫                                                                                                                                                          | 教科【資質・能力】<br>具体的な姿(評価方法)                                                                           |
| 思いや願いをもつ<br>1 種を観察し、花の成長を想像する。<br>マリーゴールドの種は水につけておいたよ。早くさくといいな。<br>花によって種の形や大きさが違うね。                          | ○自分たちが調べた種のまき方を書いた模造紙を掲示したり、アサガオや他の種に触れて比べたりして、栽培への意欲が高まるようにする。<br>○種を観察させ、色や形、大きさなどの特徴についてのつばやきを板書する。                                                                             |                                                                                                    |
| 経験を生かす<br>2 種まきの仕方をチームで確認する。<br>鉢の底に石を入れるといいって聞いたよ。<br>おばあちゃんちの花畑のヒマワリがすごく大きくなったよ。楽しみなな。                      | チームできょうりよくして自分のたねをまこう。<br>*発達に応じた表現も取り入れながら、思いや願いがもてるようにする。<br>○児童一人一人が自分なりの方法を考えて種まきができるようにする。<br>○児童が自分たちで考えて活動できるよう、見守る。<br>*それぞれが活動しやすいように準備をしておき、チームで声をかけ合えるよう見守る。            |                                                                                                    |
| 感じる・考える<br>3 種まきの仕方を確認しながら種をまく。<br>○○さんはこうしたんだって。一緒に聞いてみようか？<br>めが出るまでは日陰におくといいつて聞いたよ。<br>私は日当たりがいいところにおきたいな。 | ○友達同士関わって種まきする姿や、アサガオや種まきへの気付きを認め、周りにも広げる。<br>・近くに1つずつ全部まいたよ、楽しみだな<br>・○○くんと日なたを探して置き場所を決めたよ<br>○種まきの様子を振り返り、発表する。<br>・○○さんと一緒に種まきして楽しかったよ<br>・「おしろいばなさん大きくなってね」ってじゅもんを言いながら水やりしたよ | 生活【思考・判断・表現】<br>「保育園では当番がお水をあげていたよ」「芽が出るまではたっぷり水をあげるよ。」など、幼児期の経験や調べたことを話しながら、協力して種をまいている。(行動観察、発話) |
| 表現する・行為する<br>4 種まきの様子を発表したり描いたりする。<br>かわいい花がさきますように。色々な色の花がさきますように。<br>ぼくはやさしく土をかけたよ。毎日お水あげるぞ。                | *思いや感触、感覚を想起できるよう、活動時の発話等も投げかける。<br>○種まきをしたことをカードに絵や言葉でかく。                                                                                                                         |                                                                                                    |